

# ROYAL-TIMES

～ロイヤルホームの新しい生活～



写真=4F庭園 ビオラ

## 節分は4回

小森 公美  
2021年 2月15日

2月の異名、如月(きさらぎ)の由来は「衣更着」との説もあるそうです。寒暖差がまだまだありますが、暦の上では春がやってきました。

「節分」とは立春、立夏、立秋、立冬の前日をさし、年4回ある事を初めて知りました。立春が生活における1年の始まりと考えられていた事から、江戸時代以降は立春の前日を指すようになったようです。

今年は2月2日が節分で、124年ぶりの事で話題でした。立春を決める中央標準時というものが、あと1分遅かったら例年通り節分も2月3日になっていたそうです。3日以外の日になるのは37年ぶりの事ですが全く記憶にありません。

2025年から4年毎に節分が2日になるとの事で、3日以外の節分節分が珍しい事ではなくなりそうです。当たり前前と前と前と前ではない事が、世の中にはまだまだ沢山ありそうだなと思いました。



写真=1月のスペシャルメニュー デニッシュ、牛肉のポアレ、有機野菜のサラダ、カニと野菜のテリーヌ、かぼちゃスープ、苺とベリーケーキ



写真=理学療法の様子  
入居者様の居室にて立位訓練を実施している場面(2021年2月10日)

## リハビリと機能訓練

石井 太一  
2021年2月15日

ロイヤルホームは特定施設(有料老人ホーム)として皆様の要介護状態の軽減と悪化の防止、そして自立した日常生活を送る事ができる様に日々サービス提供を行わせて頂いております。日常生活支援を行う介護士、生活支援と同時に健康管理を行う看護師、リハビリと機能訓練を行う理学療法士この3職種は、皆様に直接触れて援助を行う専門職です。もちろん、感染防止対策は日々欠かしません。

ホームには機能訓練室が設けられており、常勤の理学療法士1名が皆様の日々のリハビリと機能訓練に携わらせて頂いております。個別リハビリは15～30分まで、週1～3回を目安にご提供しております。ホーム生活の日課として楽しみにされているご入居者様も多くいらっしゃいます。

ご入居者様は実生活において様々なご意向や、「できる活動」を持たれております。生活していく中で、必要な食事や入浴、排泄といった日常生活活動や人と人の交流、趣味活動など多岐にわたります。

ご入居者様の生活の中での人生像や個性を大切に考え、それに応じた向上訓練を可能な限り実施させて頂いております。

機能訓練室で平行棒を使用して歩行訓練に励まれるご入居者様にインタビューをしました。「(入居前に)病院のリハビリで行っていた歩く練習を今でも継続しています。これからも自分自身と相談しながら、自らの足をつかって物事を行っていきたくです。」と今後の目標を笑顔で話して下さいました。理学療法士と共に、麻生川沿いで歩行訓練をされるご入居者様は「私は歩く事を他の人にもすすめたい。歩く事でベッドを離れ、何かをしたくなる。人と話す事により接点広がる。」とご自身の考えを熱弁して下さいました。

ご体調により機能訓練室への移動が難しいご入居者様には、理学療法士が直接居室へお伺いし、ベッド上でのリハビリ提供を実施致します。また麻生リハビリ総合病院から派遣されるスタッフも病院リハビリの専門性を持って皆様のサポート致します。

皆様の「health condition」を支えるべく私共、専門職が従事させて頂いております。

## 今月のトピック

・コロナ禍のレクリエーション

・委員会活動報告(広報係)

・スタッフ紹介

## コロナ禍のレクリエーション

前原 咲奈  
2021年2月15日

ロイヤルホームでは、レクリエーション専門の職員がいます。週3～5日、午前中と午後、各階で開催したり、1階の広間で2階、3階、4階の入居者様が集まって開催したりと皆様の楽しみの一つだったと思います。新型コロナウイルスの影響で、今まで当たり前に行っていたことができない状態になってしまいました。居室にいる時間が増え、ご家族様にも中々会えず、寂しい思いをしている皆様のために、少しでも笑顔になっていただきたいと思い、できる事を日々考えています。

マスク、フェイスシールドを必ず着用し、ソーシャルディスタンスをとり、レクリエーションをしています。

職員自慢の歌声とウクレレ演奏は、昔の曲を演奏し、皆様の懐かしい思い出話にもなどに花がさき、色々なお話を聞かせてくれます。ですが、飛沫の事もあり、今は控えています。

代わりに今人気なのが、江戸時代など昔の地図を拡大コピーして、地名を捜すレクリエーションです。こちらは好評で、参加いただいている方は虫眼鏡を片手に真剣に探されています。

この他、ホワイトボードを使用して頭の体操、折り紙を使用して指先の体操などもしています。あるご入居者様は「たまには、頭も使わないとね」と仰ってくれます。

最後には必ず、足の体操、肩の体操などをして終わります。リハビリまではいきませんが、スッキリされている様子がうかがえます。

これからも皆様の楽しみになれるように精一杯頑張ります！



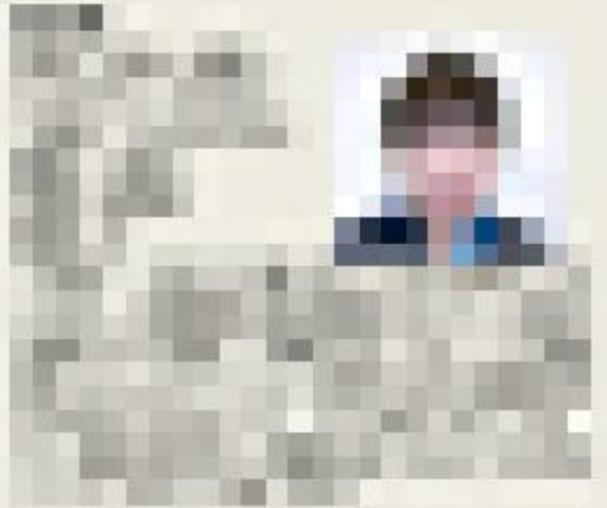
写真=2021年2月13日 折り紙のレクリエーション



写真=2021年2月13日 江戸の地図で地名探し

## スタッフ紹介

2020年12月24日



## 振り返り

岡 聖史  
2021年1月28日

新型コロナウイルスに感染しない方法を考えてみました。①一人暮らしになる事、②家から出ない事、③食事は十分に火を通せるものにする、④あるいは出前にする事、④買い物には出かけない事、⑤日用品はネット注文にする事、⑥注文が届いたら次亜塩素酸で拭く事。⑦貨幣は使用しない。⑧自分の顔には触れない事。飛沫への対策は各々行われていますが、接触感染の対策はどうでしょうか。上記①～⑦は接触感染を防ぐためですが、現実可能なものと難しいものがあります。一番の対策は顔に触れない事ですが、花粉症の私にはつらい季節です。



## お知らせ

昨年12月より、緊急事態宣言等の社会的情勢を考慮して、動画レクの撮影・外出を中止しております。まだまだ皆様にお見せしたい企画がございますが、油断できない状況です。緊急事態宣言が解除され、感染リスクが収まった頃に再開したいと考えています。

ご入居者様にはご不便をおかけしますが、今しばらくお待ちいただければと思います。

## 委員会活動報告（広報係）

岡 聖史  
2021年1月28日

サポート委員会 広報係では、毎月の広報誌（ROYAL-TIMES）の作成を行っています。広報誌のコンセプトを「新しい生活の中でご入居者様がどのように過ごされているかを伝える」として、ご家族様が面会の制限がある中でも、安心いただける

ように情報を掲載しています。行事・大型レク、月に一度のスペシャルメニュー食、リハビリ等日々の生活、スタッフ紹介、は概ね固定記事となっています。また、毎月掲載しているお花の写真は4F屋上庭園で、ご入居者様が実際にお手入れをされ育ったものです。この他、ホーム内における委員会活動からも活動報告をさせていただき、施設運営の情報の一部もお伝えできたらと思っ

ています。

今年度の担当職員は、石井太一、前原咲奈、小森公美、岡聖史の4名が役割を担い、情報の収集、文書の作成、写真撮影、編集を行っています。広報作成での苦勞については、やはり写真撮影です。ご入居者様の生活状況が一目でわかる一枚を撮るのは至難の業です。今年度も残りわずかとなりましたが、ご入居者様の様子がお伝えできるように、精いっぱい務めさせていただきます。